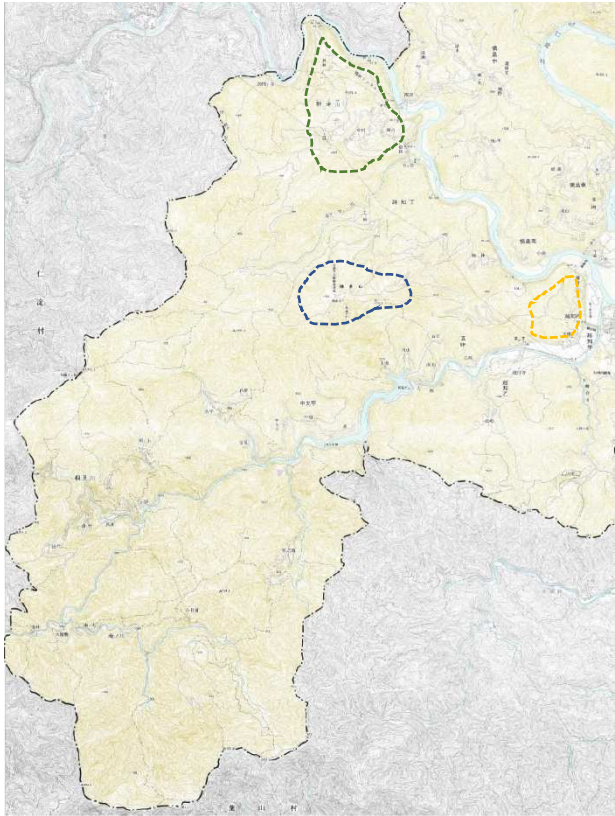


中間報告（陸産貝類）

山崎博継（わんぱくこうちアニマルランド）



【調査地①】

横倉山自然の森博物館周辺

博物館近隣では多種の樹木が見られ、よく整備されている。人の介入が多いように見え、あちらこちらで地表面が表れている。少し離れるとスギ、ヒノキが多くみられ、竹林が部分的に形成されている。



【調査地②】

野老山周辺

山頂付近まで住宅があり、多くの場所が農地となっている。またスギが多く植えられており、神社においてもスギ以外の植物が見られない。



【調査地③】

安徳天皇陵内及び周辺

自然林に近い環境があちこちに見られ、少し乾燥が強いものの、落ち葉の堆積場所は少なくはない。また石灰岩が露頭している場所も多くみられた。



19種確認（内3種未同定） 2021.01現在



【現段階での調査範囲について】

安徳天皇陵以外の調査地は、いずれも自然林と呼べる環境はなく、陸産貝類の生息にとって良好な環境とは言えず、かなり人の手が入っていると思える状態である。多くの場所が傾斜が強いことに加えて、谷からの吹き上げと山からの吹きおろしが強いことから、乾燥が強く、落ち葉の堆積を拒み、腐葉土が形成されにくく、陸産貝類の確認が困難な環境であった。